

国立国語研究所学術情報リポジトリ

本号の読みどころ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://repository.ninjal.ac.jp/records/1884

ション上の目的を意識した教材は、参考となるものがすでに数多くあります。しかし、それでもなお、漢字指導をコースの中にどう位置づけたらいいのか、何を目標とすればいいのか、漢字圏と非漢字圏の学習者が混在するクラスをどう運営したらいいのか、といった悩みを抱える教師や教育機関は少なくありません。こういった状況の中で、本稿は、漢字辞書の検索能力を養成する活動を集中的かつ継続的に行うことによって、その授業の中で教えられた漢字以外の漢字に対するレディネスや自立的学習能力を高めることができるという考えに基づき、どういったカリキュラムを組み立て、どう実践したかを詳しく紹介しています。「扱える漢字語彙の拡大」を目指した本カリキュラムは、漢字学習の長い道程を大きく変える可能性を持っていると言えるのではないのでしょうか。

ある教育実践の理念・目的・内容・方法・結果を、簡潔にわかりやすく記述することは実践研究の基本です。本稿については、「結果」をより詳しく知りたいという思いは残りますが、それは今後の課題としてとらえ、実践研究の1つのモデルとしてお読みいただければと思います。

(金田智子)

◆研究ノート：俵山雄司『『こうして』の意味と用法－談話を終結させる機能に着目して－』

本論文では次のことが論じられています。

(1) 「こうして」には、動詞「する」の意味を残し、「こう+した」と分析できる様態修飾的な「こうして」と、全体で接続詞的に機能する「こうして」がある。(2) 接続詞的な「こうして」は、「その結果」と言い換えられる「要因－結果」型と、言い換えられない「結果－解釈」型に分類できる。(3) 接続詞的な「こうして」は、談話(文章)を終結させる機能を持つ。

様態修飾的－接続詞的、「要因－結果」型－「結果－解釈」型という分類は連続的なところがあると思われますし、「こうして」が談話(文章)を終結させるという観察についても、「談話(文章)の終結」ということについて、より具体的な規定が必要だと思われますが、全体の観察は概ね妥当であり、学習者の作文教育に役立つ観察を含んでいると思います。

本論のような語法研究の研究ノートが着実に蓄積されていくことは、日本語教育において、教育実践の報告が着実に蓄積されていくことと同じくらい、重要なことであると思います。

(井上 優)